

保護者様

京都市立深草小学校
校長 土井 則夫

令和7年度 学校評価アンケート(7月実施)の結果

秋分の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。平素は本校教育にご理解、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、7月に行いました学校評価アンケートの結果についてご報告いたします。アンケートは保護者、児童から調査を行い、グラフに表しました。今回、保護者の皆様からは493件の回答(回収率約67%)をいただくことができました。ご協力ありがとうございました。

アンケート結果を今後の学校運営に活かしていくよう、努力していきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

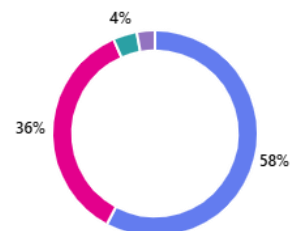
① (保護者)子どもは学校生活を楽しんでいる。

| | |
|-------------|------|
| ● そう思う | 52% |
| ● 大体そう思う | 45% |
| ● あまりそう思わない | 2.8% |
| ● そう思わない | 0.2% |



(児童)学校が楽しい。

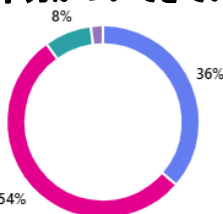
| | |
|-------------|-----|
| ● そう思う | 58% |
| ● 大体そう思う | 36% |
| ● あまりそう思わない | 4% |
| ● そう思わない | 2% |



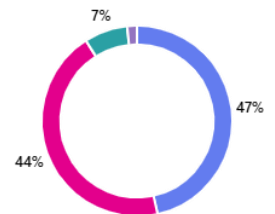
94%の児童が、学校が楽しいと思ってくれていることは大変うれしいことです。昨年度と比べても、少しだけですが、上昇しています。しかし、「あまりそう思わない・そう思わない」と回答している子が6%いることは心に留めておかなければいけません。集団生活の中では、様々な悩みや困りを抱え、楽しくないと感じることもあるかと思えます。困りや悩みを抱えた子たちからのサインを見逃さず、一緒に解決し、一人ひとりが安心できる居場所を見つけられるように日々の教育活動を進めていきたいと思えます。

② (保護者)子どもには、基礎的な学力がついてきている。(児童)授業がよくわかる。

| | |
|-------------|-----|
| ● そう思う | 36% |
| ● 大体そう思う | 54% |
| ● あまりそう思わない | 8% |
| ● そう思わない | 2% |



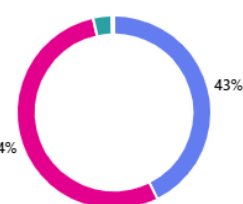
| | |
|-------------|-----|
| ● そう思う | 47% |
| ● 大体そう思う | 44% |
| ● あまりそう思わない | 7% |
| ● そう思わない | 2% |



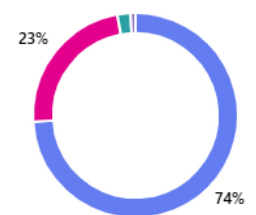
児童・保護者ともに、90%以上の方が肯定的に捉えてくれています。しかし、その時は「できた!」と思っても、時間の経過とともに、基礎的な知識や技能が忘れられ、定着できていないことがあります。基礎的な学力を定着させるためにも、授業中に「できた!」「わかった!」がたくさん感じられる授業づくりを目指すとともに、継続的な支援を続けていくことも大切にして、基礎的な学力をしっかりと積み上げていきたいです。

③ (保護者)子どもは、思いやりのある優しい心が育っている。(児童)友達や家族を大切にしている。

| | |
|-------------|------|
| ● そう思う | 43% |
| ● 大体そう思う | 54% |
| ● あまりそう思わない | 2.8% |
| ● そう思わない | 0.2% |

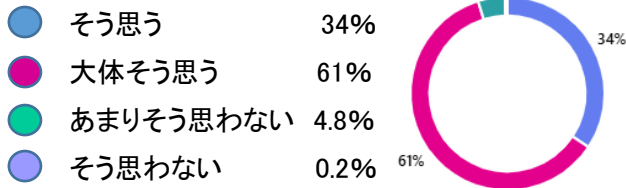


| | |
|-------------|-----|
| ● そう思う | 74% |
| ● 大体そう思う | 23% |
| ● あまりそう思わない | 2% |
| ● そう思わない | 1% |

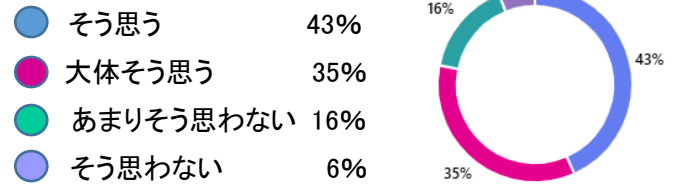


学校生活の中で、困っている子に声をかけたり、下級生を優しく見守ったりする姿がたくさん見られます。「人を大切に」しようとする思いをたくさんの子がもっていることは深草小学校の子どもたちの良さと感じています。しかし、思いとは裏腹に、友だちに対してのきつい言葉が聞かれたり、自分勝手な行動で迷惑をかけたりする姿もまだまだ見られます。互いを認め合い、助け合える関係を築いていけるように、支援していきたいと思えます。

④ (保護者)お家では、子どものよさを認め、その子のよさを伝えている。

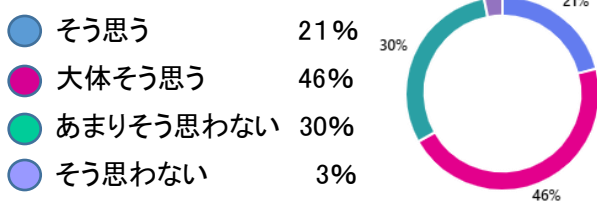


(児童)自分にはよいところがあると思っている。

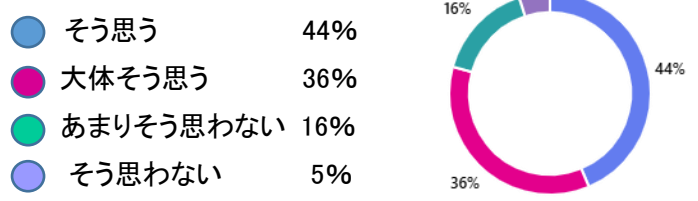


今年度より、新たに加えた質問です。約20%の子どもが、自分にはよいところがないと思っています。自己肯定感や自己有用感を育んでいくためにも、安心できる居場所をつくり、活躍できる出番を与えることが大切です。そして、タイミングを逃さず、子どものよさを認め、伝えていくことで自信にもなると思いますので、学校でも家庭でも、前向きな声かけをしていきたいものです。

⑤ (保護者)子どもは、気持ちの良い挨拶を自分から進んでしている。

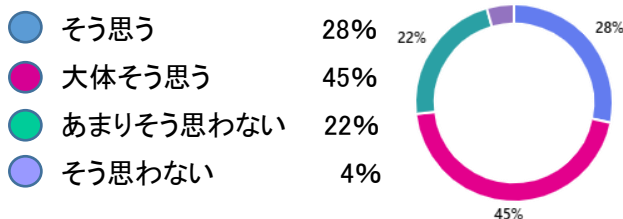


(児童)自分から進んで挨拶をしている。

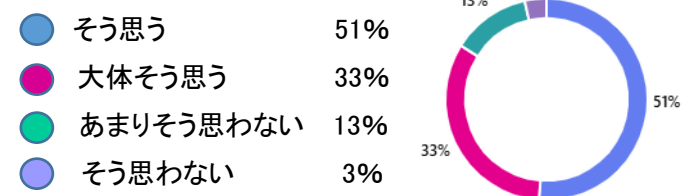


昨年度と比べて、挨拶ができていると回答された数は保護者・児童ともに少しだけ減っていました。こちらからあいさつをすれば返してくれる子は多いのですが、“自分から”となるとまだまだ少なく、黙ったまま通り過ぎていく子もいます。コミュニケーションの第一歩として、あいさつを大切にしてほしいと思います。

⑥ (保護者)子どもは、進んで家庭学習(宿題等)をする習慣がついている。

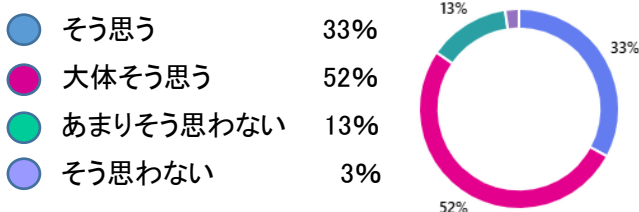


(児童)自分から進んで家庭学習(宿題等)をしている。

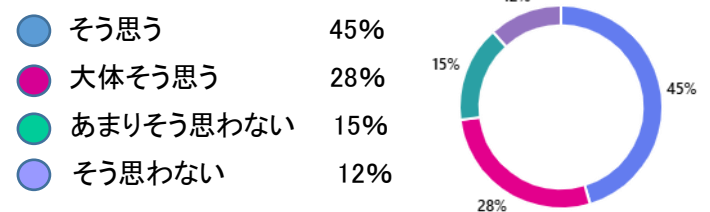


約25%の保護者の方が、家庭学習の習慣がまだ身につけていないと回答しています。ご家庭により、放課後の時間の使い方は様々だと思いますが、宿題等の家庭学習に取り組む時間をお子さんと相談して決めることが大切だと思います。『継続は力なり』短い時間からでも、毎日取り組むことで習慣化できてくるので、学校と家庭で協力して、粘り強く声かけをしていきましょう。

⑦ (保護者)学校は子どもの様子や行事などをホームページやおたより等で伝えてくれる。

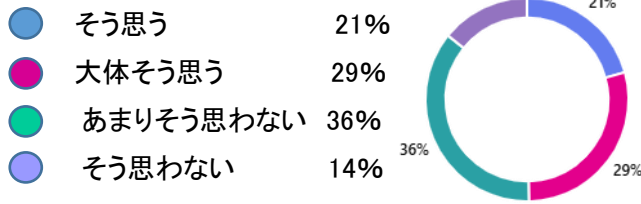


(児童)家の人に学校での様子を話している。

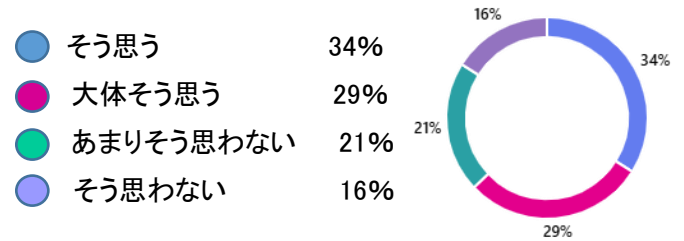


アンケート結果からは、ホームページやおたより、お子さんからの話などを通して、ある程度は学校の様子が伝わっているように感じます。引き続き、学習や学校生活の様子などをホームページ等でお伝えし、子どもの成長とともに見守っていただきたく思います。また、参観・懇談会などを通して、子どもたちの姿を見ていただける機会も大切にしていきたいと思っています。

⑧ (保護者)子どもは、家で進んで読書をする習慣が身についている。

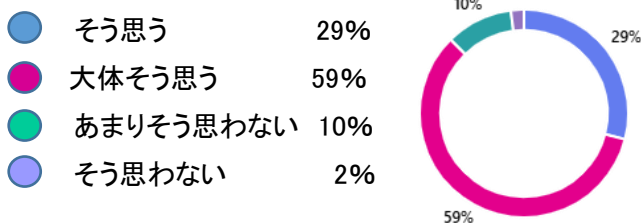


(児童)家で進んで読書をしている。

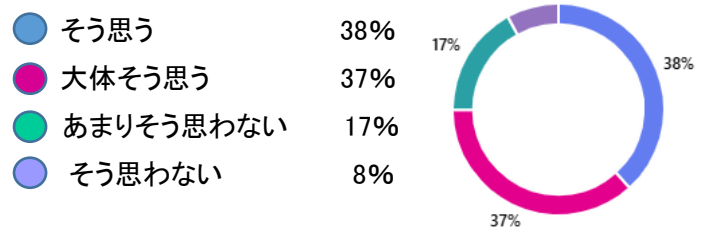


放課後に読書をする時間をつくるのが難しいとは思いますが、読書によるメリットも多々報告されています。(1)知識や教養が身につく (2)語彙力が豊かになる (3)視野が広がる (4)想像力が高まる (5)ストレス発散他にも、読書にはたくさんの効果があります。人生を豊かにしていくためにも、読書の習慣を少しでも身につけてほしいと思います。

⑨ (保護者)学校は、子どもの悩みや心配事などを聞いてくれたり相談に乗ってくれたりしている。

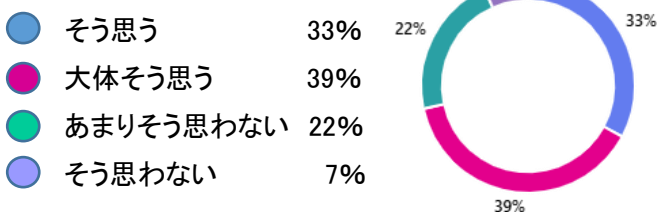


(児童)困ったことがあれば、先生に話したり相談したりしている。

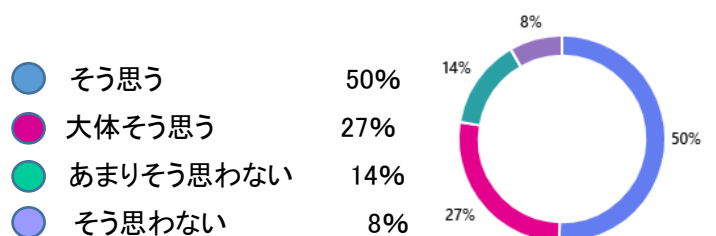


昨年度と比べて、保護者も児童も肯定的な回答が約5%ほどですが増えています。チーム担任制も2年目に入り、いろいろな教職員と関わる中で、担任はもちろんですが、担任以外にも気軽に相談できる教職員の存在があるということが子どもにも保護者にも少しずつ浸透してきているように感じます。引き続き、子どもにも保護者にも話しやすいと思ってもらえる教職員集団であるように努めていきたいと思ひます。

⑩ (保護者)子どもは、スポーツや外遊びをする習慣が身についている。

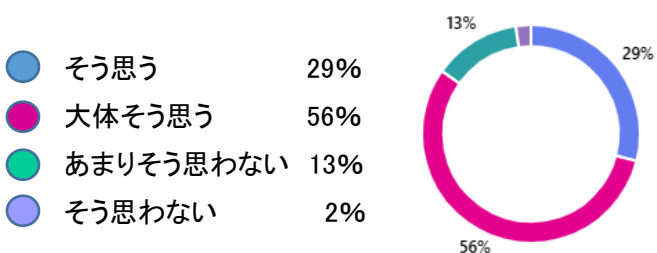


(児童)スポーツや外遊びを進んでしている。

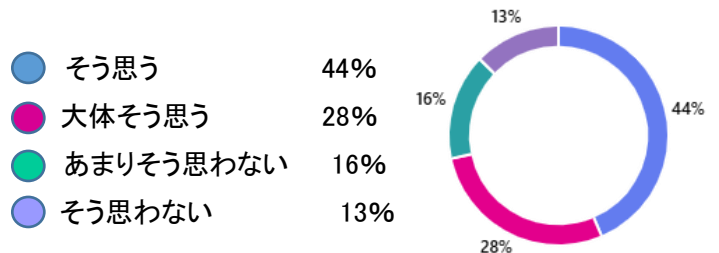


昨年度とほとんど変わらない結果となりました。今年度も7月に入ってから猛暑が続き、休み時間や放課後遊び、部活動などに制限をかけざるを得ない日が多く、室内で過ごすことになりました。秋以降、もう少し涼しくなってきたら、委員会活動等と連携し、積極的に体を動かせる機会を増やしていきたいと思ひます。

⑪ (保護者)テレビやゲーム、インターネットなどの使い方のルールを話し合って決めている。



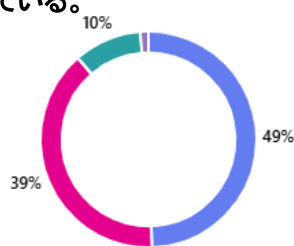
(児童)テレビやゲーム、インターネットは時間を決めて行っている。



保護者の方については、使い方のルールを話し合っているという回答が昨年より少しずつですが増えてきていることを嬉しく思ひます。インターネット等のゲームには依存性もありますので、「深小ねっとルール」も活用していただき、各家庭でしっかりとルールを決めたいと思ひます。学校でも、ICT機器を有効に活用できるよう、情報モラルや情報リテラシーについての教育をより一層充実させていきたいと思ひます。

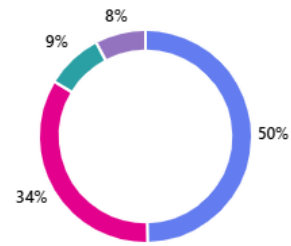
⑫ (保護者)子どもは、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)が身についている。

- そう思う 43%
- 大体そう思う 44%
- あまりそう思わない 11%
- そう思わない 2%



(児童)早寝・早起きをし、朝ごはんを食べて登校している。

- そう思う 50%
- 大体そう思う 34%
- あまりそう思わない 9%
- そう思わない 8%



児童の2割弱が、早寝早起きや、朝ごはんを食べて登校できていないと回答していることは気がかりです。生活リズムが乱れると、体調や気分も悪くなり、元気に学校生活を送ることが困難になってきます。この機会に、寝る時刻や起きる時刻、朝の過ごし方などを各ご家庭で確認していただき、生活リズムを整えてほしいと思います。そして、心身ともに元気に学校に登校してほしいと思います。